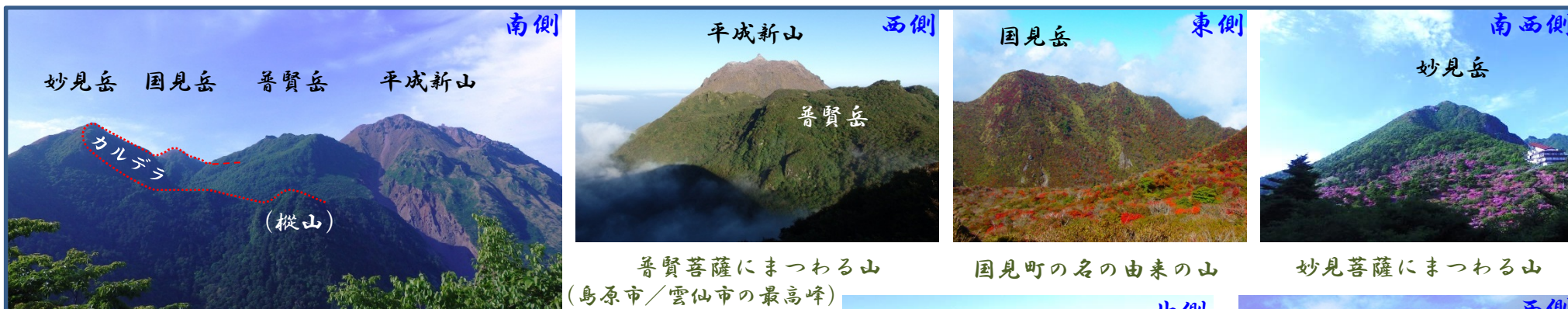


雲仙岳の山々の顔ぶれ①

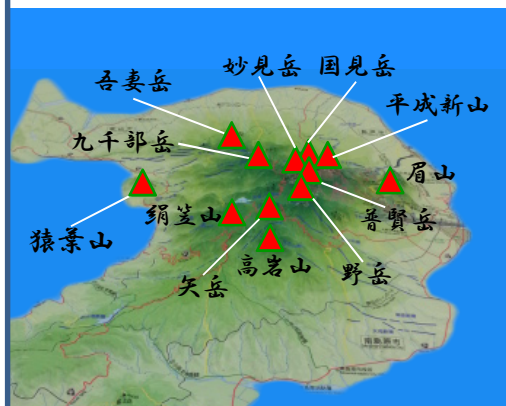
●個性あふれる30以上の山々

雲仙岳を構成する山々は、様々な形状や歴史をもち、東西南北、朝夕と異なる表情を見せてくれます。



雲仙岳の主峰群である4兄弟
(妙見カルデラの中に普賢岳・平成新山が誕生)

雲仙岳の主な山々の位置



シャープな山容／緩やかな山容
(僧行基の修行の山／
吾妻町の名の由来の山)



仁田峠背負う山 (南鳥原市の最高峰)



巨人“みそ五郎”の住まう山



雲仙地獄を西から見守る山



雲仙地獄を東から見守る山

雲仙岳の山々の顔ぶれ②

●様々な数字で表現されてきた起伏に富む山容

雲仙岳は、三岳、五岳、三岳五峰（三峰五岳）、八景、二十四峰、三十六峰と、様々な数字で表現されてきました。



東側

眉山

(天狗山、七面山)



北側

舞岳

(矢筈岳)



南側

とりかぶと
鳥甲山



北側

さるば
猿蓑山

鳥原の町を見守る緑の屏風
(雲仙岳東端の溶岩ドーム)

有明の町を見守るお椀状の山

田代原高原(千々石断層)を
見守るトサカ状の山

小浜温泉・千々石の町を
見守る傘状の山
(雲仙岳西端の溶岩ドーム)

眉山は、奥山(普賢岳等)に対する“前山”の発音が
前山⇒マイ山⇒眉山に転じたものとされています。
舞岳も前岳から同様に転じたものと推察されます。



西側

千々石
断層
吾妻岳 ↑ 九千部岳 平成新山
鳥甲山

- 平成新山 1483m
- 普賢岳 1359m
- 国見岳 1347m
- 妙見岳 1333m
- 野岳 1142m
- 九千部岳 062m
- 石割山 968m
- 矢岳 940m
- 高岩山 881m
- 銅笠山 879m
- 吾妻岳 870m
- 福生山 845m
- 鳥甲山 822m
- 眉山 819m



北西側

普賢岳
平成新山
国見岳
妙見岳
野岳
眉山 舞岳 鳥甲山
吾妻岳 九千部岳 鉾巻山
石割山
矢岳 銅笠山 高岳
猿蓑山